

資料 6

第 1 回緊急臨時的医師派遣の実施状況

# 第1回緊急臨時的医師派遣の実施について

## 1. 経緯

- 本年5月31日、政府・与党において取りまとめられた「緊急医師確保対策」に基づき、医師不足地域に対して、都道府県からの求めに応じ、国レベルで緊急臨時的に医師派遣を行う体制を整備。

## 2. 医師派遣の決定及び実施

- 上記を踏まえ、6月11日に開催された「地域医療支援中央会議」において、緊急臨時的医師派遣の枠組みが了承され、6月26日に開催された「地域医療支援中央会議幹事会」において、関係団体等の協力のもと、第1回の医師派遣が決定。
- 医師派遣については、7月1日栃木県・大田原赤十字病院への内科医の派遣を皮切りに、北海道、岩手、和歌山、大分の6病院すべてについて、派遣を実施。

## 3. 派遣医師への対応

- 6月27日に、総理官邸において総理出席のもと、激励会を実施。さらに、赴任前に医政局長から激励。
- 派遣先病院における勤務状況等については、適宜フォローアップ。
- 今後、派遣医師、派遣元病院及び派遣元団体に対して、大臣による感謝状の授与を予定。

(経緯)

- 平成18年 8月31日 地域医療に関する関係省庁連絡会議の開催  
(新医師確保総合対策により、地域医療支援中央会議の設置が盛り込まれる)
- 平成18年12月21日 地域医療支援中央会議準備会合の開催
- 平成19年 3月 9日 医師確保支援チームの設置  
(厚生労働大臣の指示により、関係省庁の担当者による支援チームを設置)
- 平成19年 4月10日 平成19年度第1回地域医療支援中央会議の開催
- 平成19年 5月31日 政府・与党「緊急医師確保対策について」が決定
- 平成19年 6月11日 平成19年度第2回地域医療支援中央会議及び第1回同幹事会の開催  
(国が中心となって緊急臨時的医師派遣に取り組むことが確認される)
- 平成19年 6月26日 平成19年度第2回地域医療支援中央会議幹事会の開催  
(第1回緊急臨時的医師派遣の実施が決定)
- 平成19年 6月27日 派遣医師等に対して総理大臣による激励会の実施
- 平成19年 7月 1日 栃木県・大田原赤十字病院への派遣を皮切りに、第1回医師派遣を順次実施

## 第1回 緊急臨時的医師派遣の実施状況について

平成19年10月25日現在

都道府県		病院名	要請診療科	派遣状況
1	北海道	後志 北海道社会事業協会 岩内病院	内科	派遣元: 全国社会保険協会連合会(中京病院等) 診療科: 内科医等1名(ローテーション方式) 派遣日: 7月29日～2月2日 6ヶ月間
2	岩手県	気仙 県立大船渡病院	循環器科	派遣元: 国立病院機構(東京医療センター等) 診療科: 循環器科医1名(ローテーション方式) 派遣日: 8月5日～10月27日 3ヶ月間
3		宮古 県立宮古病院	循環器科	派遣元: 日本赤十字社(盛岡赤十字病院) 診療科: 循環器科医1名(ローテーション方式) 派遣日: 7月3日～12月25日 週1回、6ヶ月間 派遣元: 恩賜財団済生会(横浜市東部病院) 診療科: 循環器科医1名(ローテーション方式) 派遣日: 8月17日～11月30日 3ヶ月間(10月6日以降週1日)
4	栃木県	県北 大田原赤十字病院	内科 小児科 産婦人科	派遣元: 日本赤十字社(日本赤十字社医療センター) 診療科: 内科医1名(ローテーション方式) 派遣日: 7月1日～12月31日 6ヶ月間
5	和歌山県	新宮 新宮市立医療センター	産婦人科	派遣元: 応募医師 診療科: 産婦人科医1名 派遣日: 9月1日～2月末予定 6ヶ月間
6	大分県	竹田直入 竹田医師会病院	内科	派遣元: 日本医科大学 診療科: 救急医(内科)1名 派遣日: 8月1日～1月31日 6ヶ月間

緊急臨時的医師派遣経過報告書

1 派遣の概要

- (1) 都道府県名：北海道
- (2) 二次医療圏名：後志
- (3) 派遣先医療機関開設者名：社会福祉法人北海道社会事業協会
- (4) 派遣先医療機関名：社会福祉法人北海道社会事業協会 岩内病院
- (5) 派遣先医療機関の所在地：北海道岩内郡岩内町字高台209番2
- (6) 派遣元医療機関開設者名：社団法人全国社会保険協会連合会
- (7) 派遣医師所属医療機関名：
- (8) 派遣期間：
- (9) 派遣された診療科名及び人数：

} 下記のとおり

(実績)

(7) 派遣医師所属医療機関名	(8) 派遣期間	(9) 派遣された診療科名及び人数
社会保険中京病院	7/29～8/4	消化器科・内科 1名
北海道社会保険病院	8/5～8/11	呼吸器科 1名
札幌社会保険総合病院	8/12～8/18	内科・呼吸器・膠原病・血液疾患 1名
社会保険中京病院	8/19～9/1	循環器科 1名
総合病院社会保険徳山中央病院	9/2～9/8	血液・内分泌内科 1名
社会保険滋賀病院	9/9～9/15	内科・消化器科・健診 1名
社会保険滋賀病院	9/16～9/22	循環器内科 1名
社会保険群馬中央病院	9/23～9/29	循環器科 1名
社会保険中央病院	9/30～10/6	内科 1名
社会保険徳山中央病院	10/7～10/13	循環器内科 1名
社会保険滋賀病院	10/14～10/20	内科 1名
社会保険桜ヶ丘病院	10/21～11/3	内科 1名

(予定)

北海道社会保険病院	11/4～11/10	内科 1名
東北厚生年金病院	11/11～11/17	(調整中) 1名
札幌社会保険病院	11/18～11/24	(調整中) 1名
健康保険諫早病院	11/25～12/8	内科 1名
健康保険諫早病院	12/9～12/22	内科 1名
社会保険岐阜病院	12/23～12/29	(調整中) 1名
社会保険岐阜病院	1/6～1/19	(調整中) 1名
社会保険久留米第一病院	1/20～2/2	内科 1名

## 2 派遣先医療機関の現況及び医師派遣の効果

内科医が常勤（1名）体制となり、入院・外来診療について、ともに患者数が従前と比べて増加したほか、次の効果が認められる。

### （1）外来診療

- ・内科医師の常勤により、他の診療科との連携がスムーズになり、短期間で確かな診断が可能になってきている。
- ・内科外来の待ち時間の短縮及び、夜間・休日など急患への対応も可能となっている。

### （2）入院診療

- ・近隣の医療機関からの紹介患者も含め、入院患者を受け入れることができ、また、病棟回診もきめ細かに行うことができた。

### （3）その他

- ・健康診断も可能となり、病院収益に効果をもたらしている。
- ・病院職員の志気が高まり、病院全体で地域医療に取り組む姿勢が出てきている。

## 3 派遣医師の診療状況等

期 間	外来延数	新入院数	1日平均入院数			備 考
			内科病棟	療養病棟	計	
7/29～8/4	140	6	40.3	41.6	81.9	胃がん4件、大腸がん2件、腸がん1件
8/5～8/11	163	9	38.7	43.6	82.3	
8/12～8/18	166	8	36.9	41.7	78.6	IVH挿入 5件
8/19～9/1	437	21	37.0	44.1	81.1	
9/2～9/8	222	5	29.1	45.6	74.7	
9/9～9/15	191	14	33.7	46.3	80.0	胃がん6件、大腸がん1件
9/16～9/22	173	6	39.4	49.6	89.0	
計	1,492	69	36.5	44.6	81.1	

## 4 都道府県の支援策

- ・医療対策協議会において、自治体病院等連携構想を策定中
- ・当該地域市町村における医療連携協議
- ・自治体病院等連携構想策定後の連携区域において、地域医療アドバイザーの活用を視野に入れた具体的な協議

## 5 派遣決定後に実施した医師確保策

### (1) 派遣先医療機関

- ・内科医師2名の招聘に向けて交渉を継続中
- ・循環器内科出張医の回数増加（月1回→2回へ）
- ・整形外科医師9月採用により整形外科診療を再開
- ・ホームページ、医師紹介ネットなどを利用した医師募集は継続中
- ・医療機能及び医療資源の見直しは、当面、従前の機能を継続する。

### (2) 都道府県医療対策協議会等

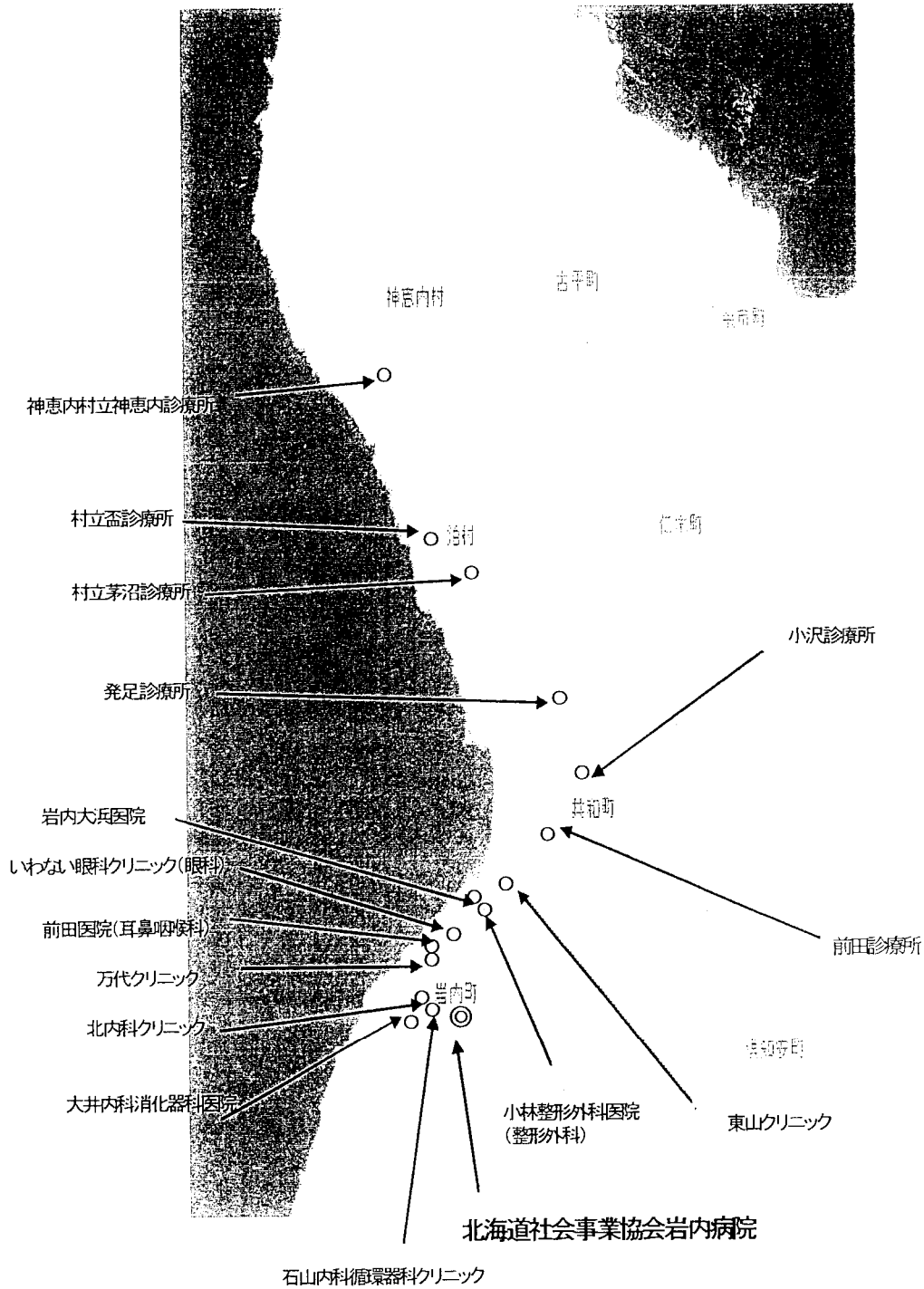
①派遣先医療機関の医師確保に関するアクションプランに対する支援状況  
地域医療振興財団のドクターバンクを通じた勤務医師の募集や登録医に対する勤務の働きかけ。

②派遣先医療機関の医療機能及び医療資源の見直しに対する支援状況  
派遣先医療機関の所管保健所と周辺の市町村による連絡会議を開催し、支援・連携について協議を進めているところ。

③医療対策協議会による当該医療圏・地域の医療連携体制の構築状況  
医療対策協議会自治体病院等広域化検討分科会において、自治体病院等連携構想を策定中であり、当該圏域については、患者受療動向、中核病院、地理的關係などを踏まえて、1市13町6村で構成される圏域の内、派遣先医療機関を中核病院とする3町3村による連携区域を設定し、地域での具体的な広域化・連携体制の検討を進める予定。

# 岩宇圏域医療体制図

平成19年9月30日現在





## 緊急臨時的医師派遣経過報告書

## 1 派遣の概要

- (1) 都道府県名：岩手県
- (2) 二次医療圏名：気仙医療圏
- (3) 派遣先医療機関開設者名：岩手県
- (4) 派遣先医療機関名：岩手県立大船渡病院
- (5) 派遣先医療機関の所在地：岩手県大船渡市大船渡町字山馬越 10 番地 1
- (6) 派遣元医療機関開設者名：独立行政法人国立病院機構
- (7) 派遣医師所属医療機関名：(9) のとおり
- (8) 派遣期間：平成 19 年 8 月 6 日から平成 19 年 10 月 26 日
- (9) 派遣された診療科名及び人数

派遣期間 (移動日を含む)	所属医療機関名	診療科名	人数
8月5日～ 8月11日	東京医療センター	循環器科	1人
8月19日～ 8月25日	名古屋医療センター	循環器科	1人
8月26日～ 9月1日	大阪医療センター	循環器科	1人
9月2日～ 9月8日	岩国医療センター	循環器科	1人
9月9日～ 9月15日	函館病院	循環器科	1人
9月17日～ 9月22日	高崎病院	循環器科	1人
9月24日～ 9月29日	長崎医療センター	循環器科	1人
9月30日～ 10月6日	名古屋医療センター	循環器科	1人
10月8日～ 10月13日	京都医療センター	循環器科	1人
10月14日～ 10月20日	岡山医療センター	循環器科	1人
10月21日～ 10月27日	九州医療センター	循環器科	1人

## 2 派遣先医療機関の現況及び医師派遣の効果

循環器科の外来診療は中止していることから、他科での外来受診患者及び入院患者の循環器疾患並びに救急患者の循環器疾患の診療や来院患者のコンサルティング等を行っており、また、入院を要する患者については搬送に1時間程度を要する近隣の医療圏（釜石 約40km、宮城県の気仙沼 約50km）や約2時間を要する盛岡医療圏（約100km）に搬送している。

循環器科医師が派遣されたことにより、循環器疾患で来院する救急患者等の診療について、循環器科医師を呼び出しての診療や直接アドバイスを受けることもでき、大船渡病院の勤務医にとって安心感がある。

### 3 派遣医師の診療状況等

月曜日から金曜日（当直なし）

- ・ 他科での外来患者及び入院患者の循環器疾患の診療
- ・ 救急患者の循環器疾患の診療
- ・ 来院患者のコンサルティング

### 4 都道府県の支援策

地域医療支援アドバイザーの派遣要請

### 5 医師派遣決定後に実施した医師確保策

#### (1) 派遣先医療機関

##### ① 医師確保に関する行動計画の実施状況等

###### ア 魅力ある病院づくり

大学医学部及び他の県立病院等と連携して医師の研修・教育体制を充実させるなど、より魅力ある病院づくりに取り組んでいる。

###### イ 勤務環境の改善

医師の過重労働の軽減を図るために、検査技師等のコ・メディカルとの業務分担の見直し及びメディカル・クラークの導入など、勤務環境の改善のために必要な予算措置を検討している。

###### ウ 医師確保施策の活用・実施

関係大学に対して粘り強く医師派遣要請を続けている。

###### エ 求人情報の発信

当院のホームページ、医学雑誌、民間医師募集サイトなどの情報媒体を活用し、当院の医師募集について広く周知を図っている。

##### ② 医療機能・医療資源の見直し及び近隣医療機関との連携等による見直しの実施状況

ア 当院の循環器科は、派遣元の大学において隣の釜石保健医療圏に医療機能を集約したものであるが、救命救急センターを併設していることから、引き続き派遣元大学へ粘り強く要請に努めていく。

イ 圏域の市町、地元医師会、大船渡病院医療体制充実対策協議会等と協力・連携しながら医師招聘を進めており、また、診療所との機能分担や連携、地域住民の適切な受診行動への啓発を図っているなど、圏域の医療提供体制の構築と調整を進めている。

#### (2) 県及び地域医療対策協議会

① 「岩手県医師確保対策アクションプラン」に基づく総合的な医師確保対策の取組みを展開している。

- ② 昨年9月に保健福祉部と医療局が共管組織として設けた医師確保対策室の活動等により、広く県内外からの医師招聘に努めている。
- ③ 地域医療アドバイザーの派遣を要請し、岩手県地域医療支援機構で対応協議を予定している。

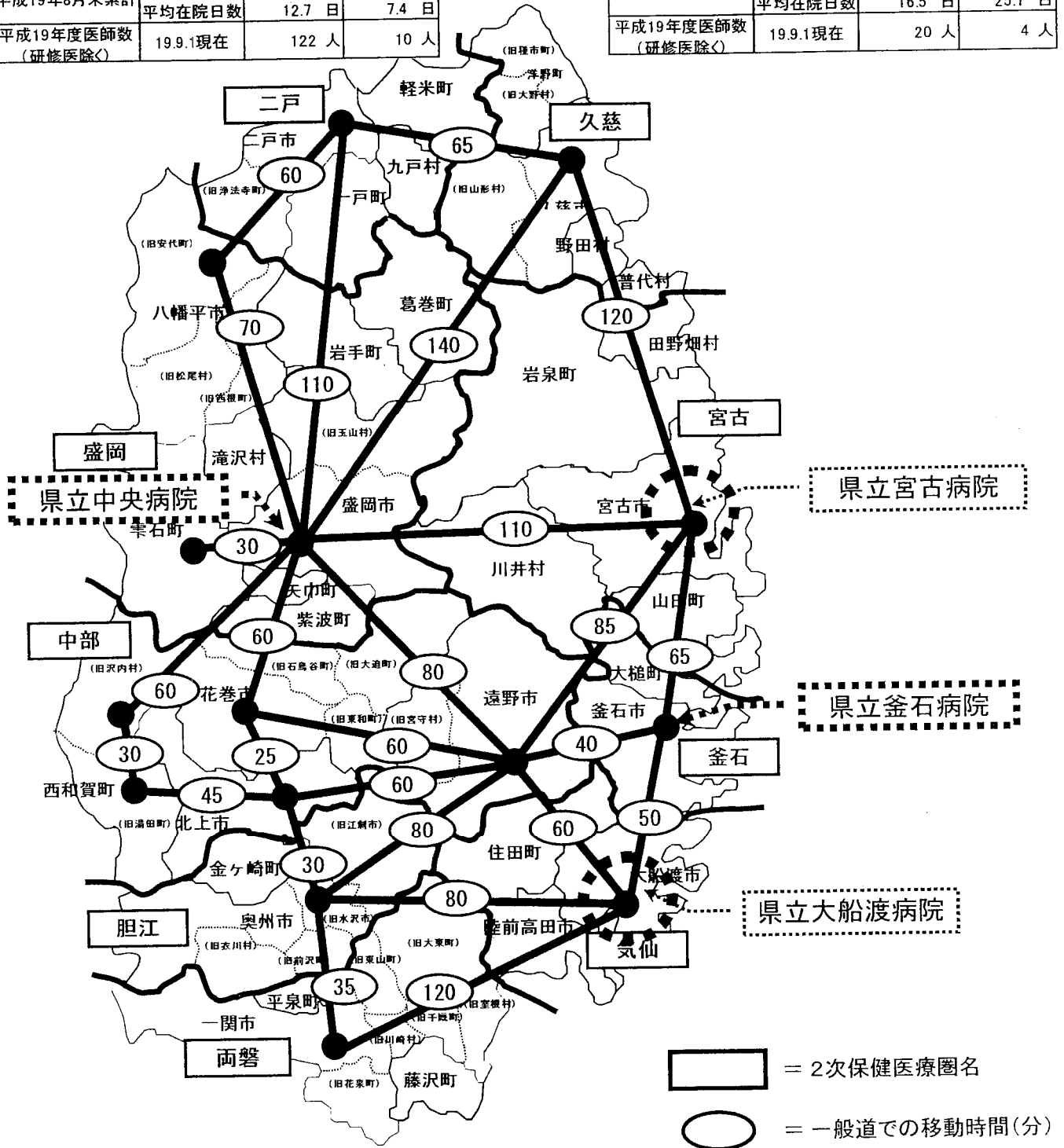
# 転送先医療機関の状況

■ 県立中央病院の状況

	全体	循環器科	
平成18年度実績	入院患者数	231,766 人	16,404 人
	外来患者数	286,351 人	13,240 人
	病床数	730 床	43 床
	心カテ件数		1,357 件
平成19年8月末累計	病床利用率	83.2 %	103.4 %
	平均在院日数	12.7 日	7.4 日
平成19年度医師数 (研修医除く)	19.9.1現在	122 人	10 人

■ 県立釜石病院の状況

	全体	内科	
平成18年度実績	入院患者数	89,632 人	17,633 人
	外来患者数	168,810 人	26,544 人
	病床数	272 床	48 床
	心カテ件数		157 件
平成19年8月末累計	病床利用率	83.8 %	91.1 %
	平均在院日数	16.5 日	25.1 日
平成19年度医師数 (研修医除く)	19.9.1現在	20 人	4 人



## 緊急臨時的医師派遣経過報告書

### 1 派遣の概要

- (1) 都道府県名：岩手県
- (2) 二次医療圏名：宮古医療圏
- (3) 派遣先医療機関開設者名：岩手県
- (4) 派遣先医療機関名：岩手県立宮古病院
- (5) 派遣先医療機関の所在地：岩手県宮古市崎鍬ヶ崎第1地割11番地26
- (6) 派遣元医療機関開設者名：社会福祉法人恩賜財団済生会
- (7) 派遣医師所属医療機関名：社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院
- (8) 派遣期間：平成19年8月17日から平成19年10月5日、  
10月19日(金)、11月2日(金)、11月9日(金)、11月30日(金)
- (9) 派遣された診療科名及び人数

派遣期間 (移動日を含む)	所属医療機関名	診療科名	人数
8月17日、 8月20日～ 8月22日	済生会横浜市東部病院	循環器科	1人
8月23日～ 8月24日		循環器科	1人
8月27日～ 8月31日		循環器科	1人
9月3日～ 9月7日、 9月10日～ 9月14日		循環器科	1人
9月18日～ 9月21日		循環器科	1人
9月25日～ 9月28日		循環器科	1人
10月1日～ 10月3日		循環器科	1人
10月3日～ 10月5日		循環器科	1人
10月19日		循環器科	1人
11月2日、 11月9日、 11月30日		循環器科	1人

### 2 派遣先医療機関の現況及び医師派遣の効果

循環器科の外来診療は中止していることから、他科での外来受診患者及び入院患者の循環器疾患並びに救急患者の循環器疾患の診療や来院患者のコンサルティング等を行っており、また、入院を要する患者については搬送に2時間程度を要する盛岡医療圏(約100km)に搬送している。

循環器科医師が派遣されたことにより、循環器疾患で来院する救急患者等の診療について、循環器科医師を呼び出しての診療や直接アドバイスを受けることもでき、宮古病院の勤務医にとって安心感がある。

### 3 派遣医師の診療状況等

月曜日から金曜日（当直なし）

- ・ 他科での外来患者及び入院患者の循環器疾患の診療
- ・ 救急患者の循環器疾患の診療
- ・ 来院患者のコンサルティング

### 4 都道府県の支援策

地域医療支援アドバイザーの派遣要請

### 5 医師派遣決定後に実施した医師確保策

#### (1) 派遣先医療機関

##### ① 医師確保に関する行動計画の実施状況等

###### ア 魅力ある病院づくり

大学医学部及び他の県立病院等と連携して医師の研修・教育体制を充実させるなど、より魅力ある病院づくりに取り組んでいる。

###### イ 勤務環境の改善

医師の過重労働の軽減を図るために、検査技師等のコ・メディカルとの業務分担の見直し及びメディカル・クラークの導入など、勤務環境の改善のために必要な予算措置を検討している。

###### ウ 医師確保施策の活用・実施

関係大学に対して粘り強く医師派遣要請を続けている。

###### エ 求人情報の発信

当院のホームページ、医学雑誌、民間医師募集サイトなどの情報媒体を活用し、当院の医師募集について広く周知を図っている。

##### ② 医療機能・医療資源の見直し及び近隣医療機関との連携等による見直しの実施状況

ア 当院の循環器科は、盛岡市まで約2時間程度を要することから、他の県立病院から応援を得ているところであるが、引き続き派遣元大学へ粘り強く要請に努めていく。

イ 圏域の市町村、地元医師会等と協力・連携しながら医師招聘を進めており、また、診療所との機能分担や連携を図っているなど、圏域の医療提供体制の構築と調整を進めている。

(2) 県及び地域医療対策協議会

- ① 「岩手県医師確保対策アクションプラン」に基づく総合的な医師確保対策の取組みを展開している。
- ② 昨年9月に保健福祉部と医療局が共管組織として設けた医師確保対策室の活動等により、広く県内外からの医師招聘に努めている。
- ③ 地域医療アドバイザーの派遣を要請し、岩手県地域医療支援機構で対応協議を予定している。